

特別委員会

◆総合開発特別委員会

◇苦小牧版IRの在り方公表

林 光仁 委員長

所管事項は7件あり、その中で質疑が活発に繰り広げられたのが、「苦小牧国際リゾート構想」



「構想で先の中間報告を基に7つの基本方針を示しました。しかし、実施法が国会で審議中であり、事業者の選定もこれからであるため、計画の詳細が見えない状況では、深めた議論に至らず、委員からもセミナーだけでは市民理解は難しいので、さらなる市民説明をとの意見もありました。」

また、勇払の製紙会社の洋紙製造の停止についても質疑があり、機械保守や物流などの取引企業への影響調査を行うほかに、商工会議所とも連携し支援を検討するとその答弁がありました。

そのほかに、米軍訓練関連の質疑もありました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◇樽前山噴火に係る避難計画を検討

岩田 薫 委員長

所管事項は社会福祉法人沼ノ端はくちょう会と福祉避難所の協定を締結したことなど4件あり、樽前山噴火に係る避難計画の検討では、法改正に伴い樽前山火山防災協議を見通した内容が、報告されたとの説明がありました。弾道ミサイル発射情報



樽前山火山防災協議会の調査

報の市民周知では、消防サイレンの活用を行うことから、これまでの消防サイレンも含め市民周知をおこない、30年9月頃から開始を予定するとしました。（仮称）市民ホールの民間活力導入可能性調査について、30年9月までに検討することとしました。

そのほかに、防災会議への女性登用、防災ハンドブック別冊の作成など質疑がありました。

■議会運営委員会

〈議会基本条例を研究するため先進都市を視察〉

岩田 典一 委員長

5月8日～10日、議会基本条例を含む議会改革先進地である、神奈川県小田原市、三重県四日市市、愛知県半田市を訪れ、議員や関係者に現状を聞き、調査を行いました。

小田原市では、苦小牧市が議会基本条例を検討するにあたって参考としている都市であり、条例体系の根幹や条例の運用におけるさまざまな課題や今後の方向性についても意見交換を行いました。



議会基本条例先進地「小田原市」

深まるがそれが市側に施策として

また、四日市市では、具体的な議員間討議を運用するにあたっての詳細な内容について調査し、議員間の議論は

反映する場合は課題などもあることが分かりました。

最終日は半田市を訪問し、どのように議会改革を進めたのか背景などの詳細を聞きまし



議会改革を学んだ「半田市」

た。まず、議会基本条例を制定したうえで議会改革を進めています。広報広聴にも力を入れていますが、議会傍聴者が少なくインターネットや広報紙で議会の様子を伝える努力をしています。議会報告会では、特定の人しか参加しないことや参加人数の低迷などもあり、考慮していたことを聞き、苦小牧市議会としてもたいへんに参考となる視察調査となりました。